

(意見書案第 15 号)

口蹄疫などの家畜の感染症に対する備えを万全にするよう求める意見書

口蹄疫をはじめ、昨年の高病原性鳥インフルエンザなど、世界的な交流の拡大に伴う家畜の感染症侵入の脅威は、年ごとに大きくなり、酪農・畜産業への影響のみならず、観光イベントの開催中止など、経済活動や社会生活にも多大な影響を与えている。

こうした家畜の感染症にかかわる被害拡大を防ぐためには、侵入を防止することはもとより、万が一、発生が確認された場合は、速やかな対応が何よりも求められる。

よって、国においては、常にこうした家畜の感染症の侵入と蔓延防止及び検査体制の充実等備えに万全を期すとともに、必要な予算措置を講ずるよう強く要望する。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 22 年 9 月 21 日

釧路市議会

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
総務大臣  
財務大臣  
農林水産大臣  
内閣官房長官  
国家戦略担当大臣

宛